

はぐくみ

安城中部小学校 学校通信

令和7年 11月号 10月28日

正しく負ける

安城中部小学校長 稲 留 雄 一

東門近くのザクロの木が大きな実をいくつもつけています。ザクロを食べたのはもう何年前のことでしょうか。小さいころに食べたのだと思います。甘酸っぱい赤い小さな実をむしり取って口に含み、種をプツと出しながら食べていたように記憶しています。秋だったのかは覚えていませんが。先日店頭でも見かけてびっくりしました。体育館西側の育みの池には小さな白いハスの花が咲きました。秋の訪れは秋にしか感じられないものです。歩みを緩め、視線の高さをいつもと少し変えるだけでいろいろなものが見えてきます。適時性は子どもたちを育てていくためにとても重要な要素となります。その時にしかできないこと、その時にしか味わえないことやものを見極めて、子どもたちの貴重な学びとして経験させてあげたいものです。

10月11日(土)に「元気いっぱい ほくぶっこうんどうかい(安城北部こども園)」を参観させていただきました。私の長男も通っていた園なので、毎年懐かしく参観させていただいています。かわいらしい子どもたちの姿に、自然と笑顔になりました。年長児の「心を一つに! バトンをつなげ!」では、二つのチームが白熱のレースを展開しました。いよいよアンカー勝負。僅差でバトンが渡されました。二人とも素晴らしい走り。どちらも勝たせてあげたいところですが、そこは勝負。わずかな差で勝敗が決まりました。ゴールした二人のアンカーの雄姿を目で追っていると、負けてしまったアンカーの子どもの目から涙があふれていました。思うようにいかずに小さな子どもが駄々をこねて泣いているのではないのです。悔しさをじっとこらえて目に涙を浮かべている姿に、私も思わず…。

「正しく負けること」かつて中学校で部活動の顧問をしていた時には、こんなことを考えながら子どもたちを指導していました。勝利を目指して精一杯努力を重ね、仲間と力を合わせて最後まで全力を尽くす。それでも最後は負けて終わります。全国には約10,000校の中学校があります。勝って終わる子どもは何人いるのでしょうか。決して後悔のないように日々の練習を大切にしていました。

スポーツの世界に限ったことではありません。「正しく負ける」経験は子どもたちの成長の過程の中で大きな糧になることだと思います。

アンカーのあの子は、あの涙でまた少しだけたくましく成長したことでしょう。スポーツフェスティバルが楽しみです。



令和8年度PTA役員・運営委員の候補者選出について

安城中部小学校 PTA会長 宇田周之

PTA会員の皆様には、日ごろよりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度9月に、令和8年度PTA役員(会長1名、副会長1名)・運営委員5名の候補者選出に向けて、全会員に募集を実施させていただきました。その結果、7名の方々から前向きな回答(やってもよい7名)をいただきました。10月18日(土)に、現PTA役員・運営委員とその7名(うち、2名欠席)の方々にご参加いただき、「令和8年度PTA役員・運営委員選出打ち合わせ会」を行い、選出について話し合いを行いました。そして、話し合いの結果、令和8年度のPTA役員2名及び運営委員5名の候補者が決定し、今後の指名委員会、令和8年度PTA総会での承認を得る運びとなりました。

よって、本年度は来年度のPTA役員・運営委員選出のための選出会は行いません。ご協力ありがとうございました。

なお、来年度6年生のお子様が末子であり、PTAの役員・委員や子ども会役員の経験がない会員の方々には、来年度「ベルマーク集計作業」に参加していただきます。ご協力をお願いいたします。